

令和元年度 安城市市民行動調査結果

I. 調査の概要

1. 調査目的

この調査は、環境基本計画改訂のための基礎資料を得ることを目的として実施しました。

2. 調査対象

調査対象は、安城市全域の18歳以上の市民1,600人としました。

3. 調査期間

郵送による配布・回収を行い、令和元年12月4日発送、同年12月25日を提出期限としました。

4. 回収結果

回収結果を以下に示します。

	配布数	回収数	回収率
市民	1,600	754	47.1%

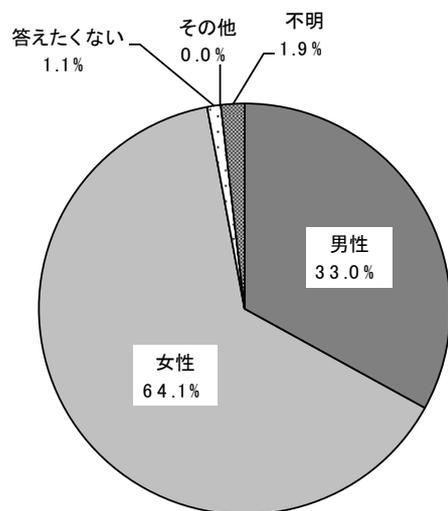
5. 報告書の見方

- パーセント表示のものについては、端数処理の関係で合計が100にならない場合もあります。
- 報告書の表、グラフ及び文章等で示した回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合があります。
- 「不明」は無回答及び無効回答を示します。

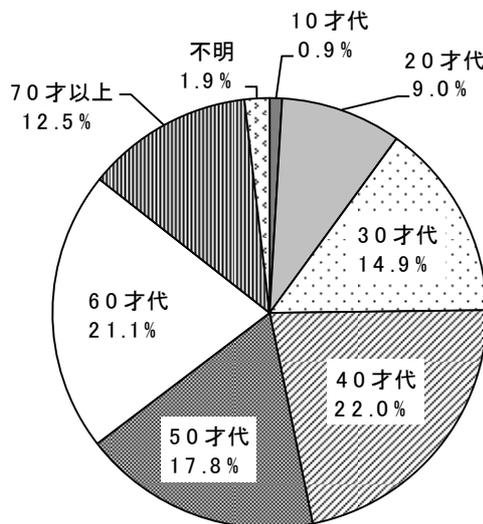
Ⅱ. 集計結果

1. 回答者の属性

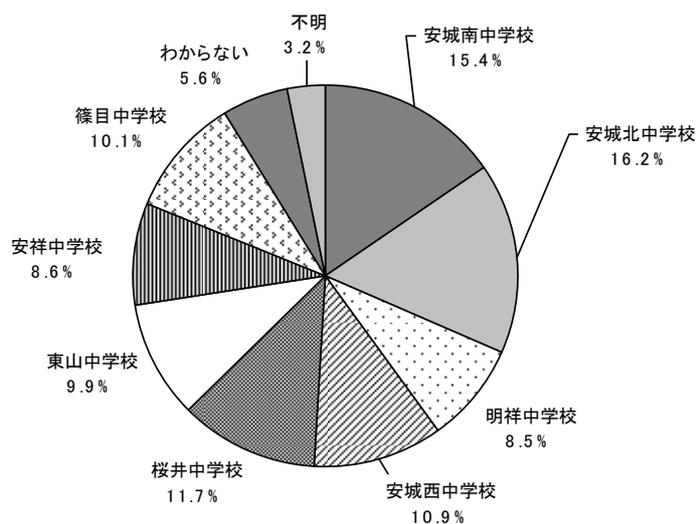
【性別】



【年齢】



【居住地】



◇性別は、不明を除くと、女性の方が多くなっています。

◇年齢は、40才代が22.0%で最も多く、次いで60才代が21.1%、50才代が17.8%でした。

◇居住地は、安城北中学校区が16.2%で最も多く、次いで安城南中学校区が15.4%でした。

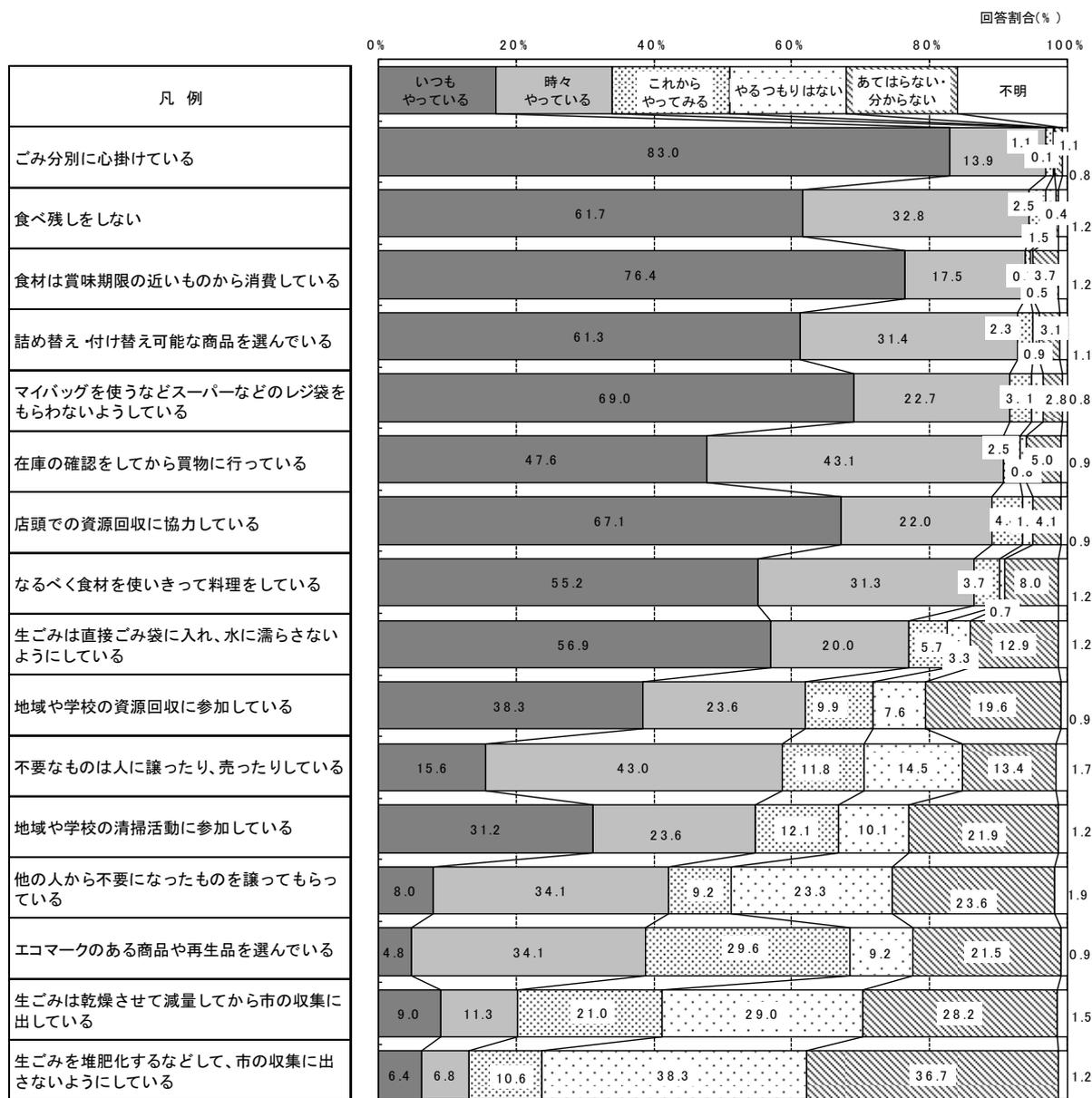
2. 集計結果

問1. 《日常生活について》

ご自宅での生活環境、スタイル等、日頃の生活について、それぞれ右の1～5の当てはまる番号に○をつけてください。

※家事を担当していない、運転免許がない等の理由であてはまる回答がない場合は、「5（あてはまらない）」に○をつけてください。

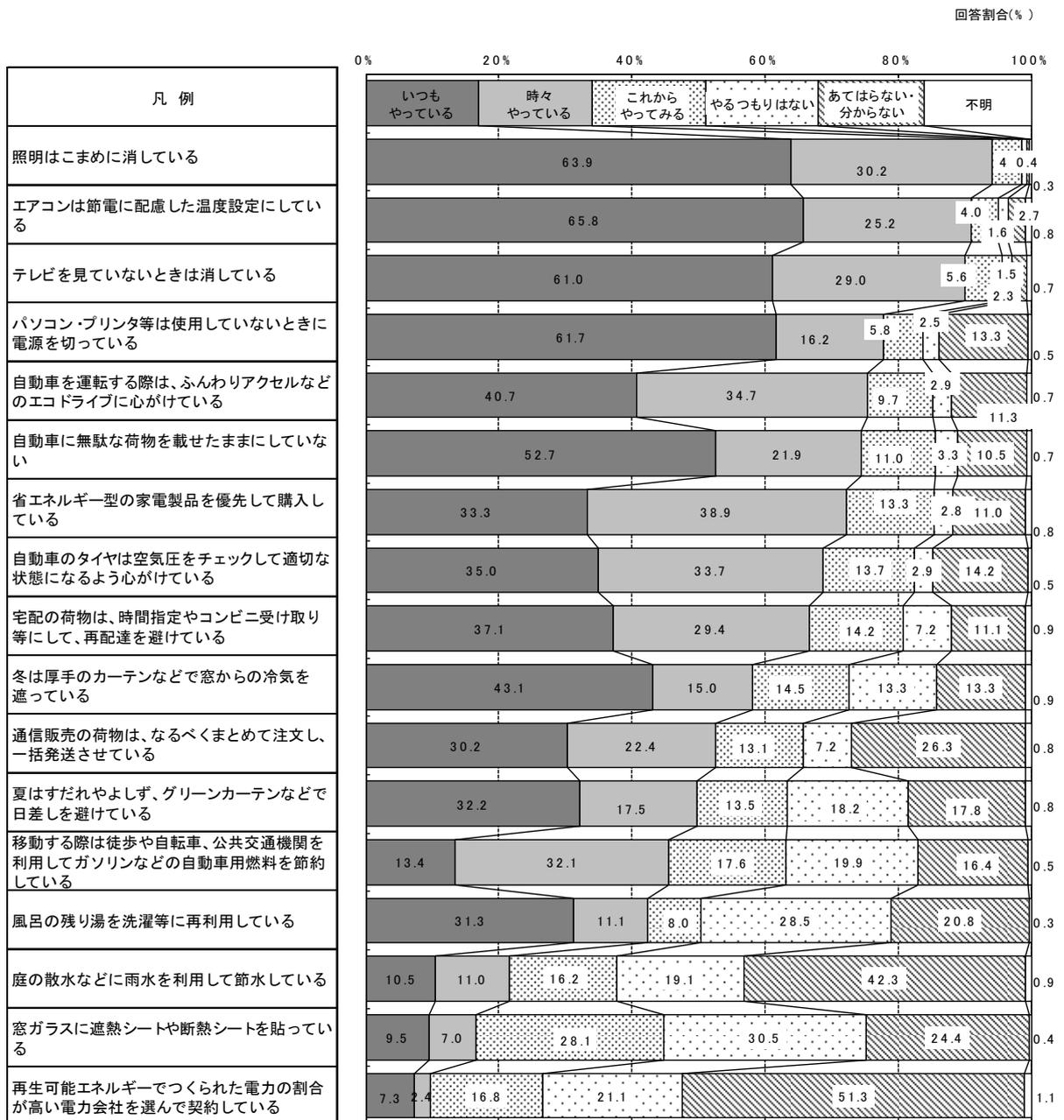
(1) 買い物とごみについて



◇「いつもやっている」が多いのは、「ごみ分別に心掛けている」で83.0%、「食材は賞味期限の近いものから消費している」が76.4%、「マイバッグを使うなどスーパーなどのレジ袋をもらわないようしている」が69.0%の順でした。

◇「やるつもりはない」が多いのは、「生ごみを堆肥化するなどして、市の収集に出さないようにしている」で38.3%、「生ごみは乾燥させて減量してから市の収集に出している」が29.0%、「他の人から不要になったものを譲ってもらっている」が23.3%の順でした。

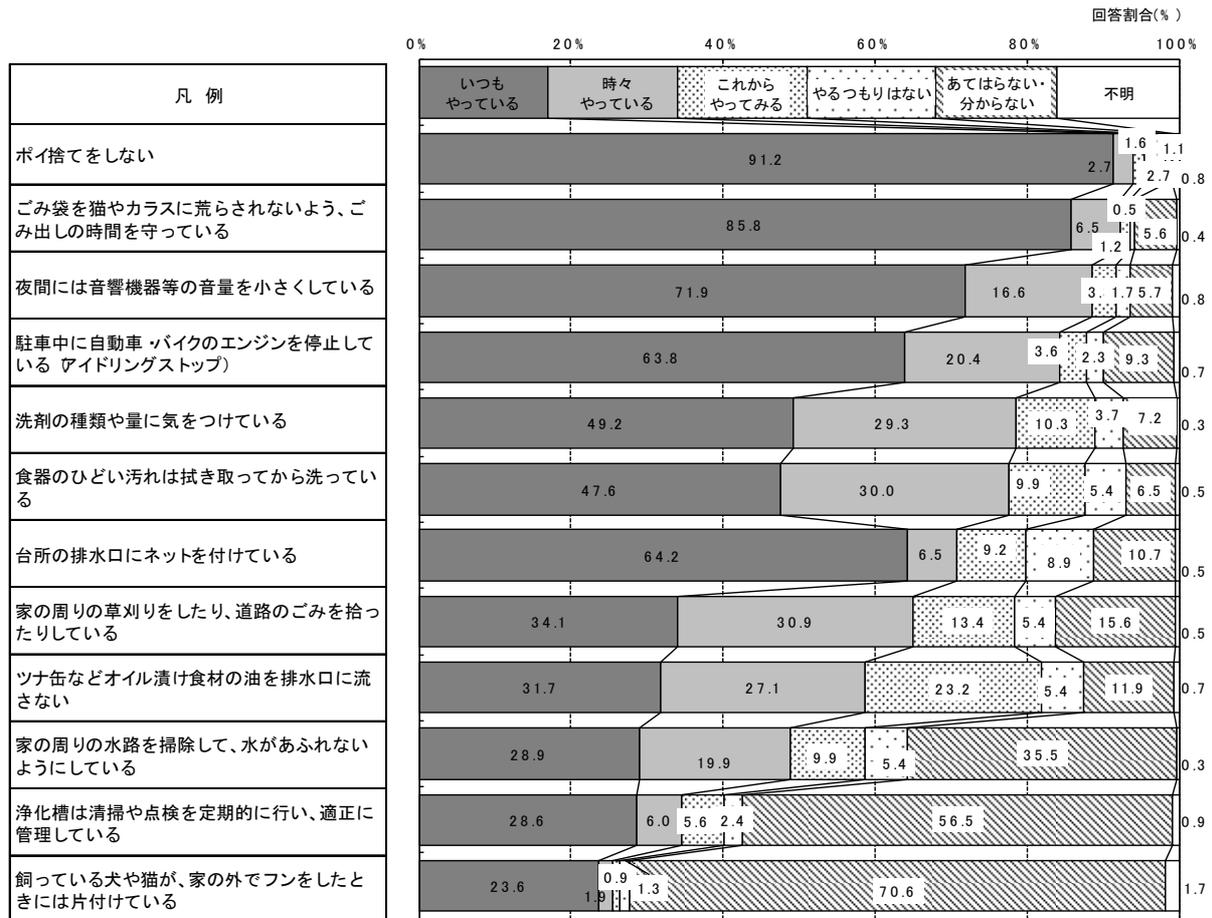
(2) 電気や燃料等の節約について



◇「いつもやっている」が多いのは、「エアコンは節電に配慮した温度設定にしている」で65.8%、「照明はこまめに消している」が63.9%、「パソコン・プリンタ等は使用していないときに電源を切っている」が61.7%の順でした。

◇「やるつもりはない」が多いのは、「窓ガラスに遮熱シートや断熱シートを貼っている」で30.5%、「風呂の残り湯を洗濯等に再利用している」が28.5%、「再生可能エネルギーでつくられた電力の割合が高い電力会社を選んで契約している」が21.1%の順でした。

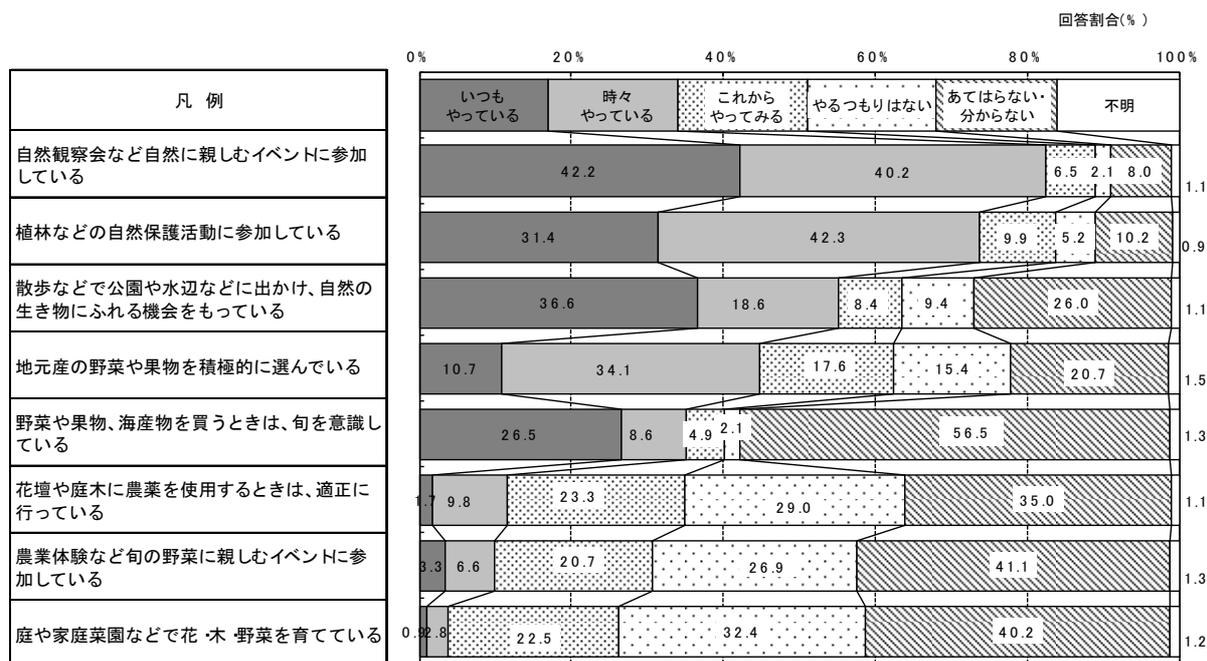
(3) 近隣や排水への配慮について



◇「いつもやっている」が多いのは、「ポイ捨てをしない」で91.2%、「ごみ袋を猫やカラスに荒らされないよう、ごみ出しの時間を守っている」が85.8%、「夜間には音響機器等の音量を小さくしている」が71.9%の順でした。

◇「やるつもりはない」が多いのは、「台所の排水口にネットを付けている」で8.9%、「食器のひどい汚れは拭き取ってから洗っている」、「ツナ缶などオイル漬け食材の油を排水口に流さない」、「家の周りの草刈りをしたり、道路のごみを拾ったりしている」、「家の周りの水路を掃除して、水があふれないようにしている」が5.4%の順でした。

(4) 自然との関わりについて



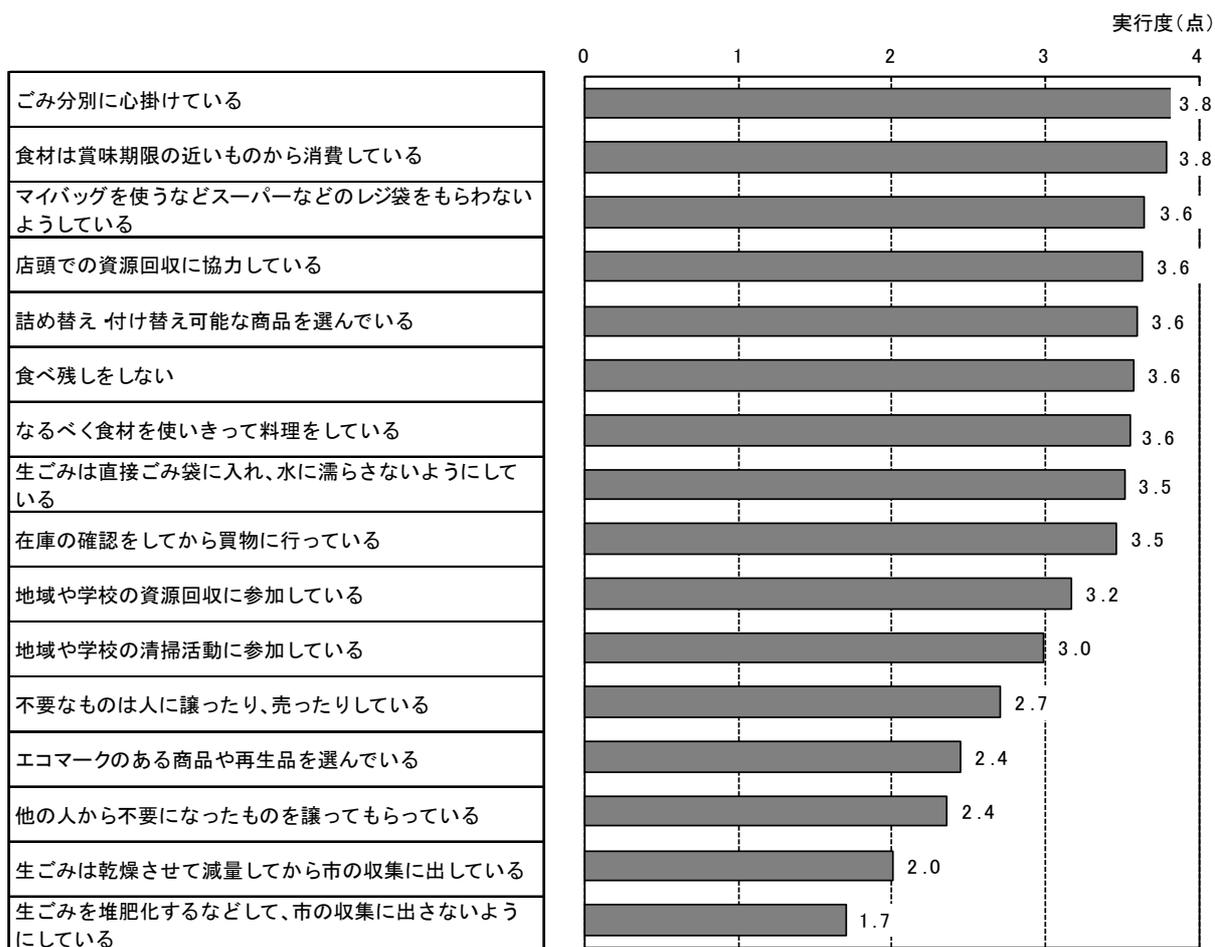
◇「いつもやっている」が多いのは、「野菜や果物、海産物を買うときは、旬を意識している」で42.2%、「庭や家庭菜園などで花・木・野菜を育てている」が36.6%、「地元産の野菜や果物を積極的に選んでいる」が31.4%の順でした。

◇「やるつもりはない」が多いのは、「植林などの自然保護活動に参加している」で32.4%、「自然観察会など自然に親しむイベントに参加している」が29.0%、「農業体験など旬の野菜に親しむイベントに参加している」が26.9%の順でした。

「いつもやっている」=4点、「時々やっている」=3点、「これからやってみる」=2点、「やるつもりはない」=1点として、各項目の取組み度合いを得点化し、「実行度」として算出しました。

$$\begin{aligned} \text{実行度} = & \{ (\text{「いつもやっている」の回答数}) \times 4 + (\text{「時々やっている」の回答数}) \times 3 \\ & + (\text{「これからやってみる」の回答数}) \times 2 + (\text{「やるつもりはない」の回答数}) \times 1 \} \\ & \div \{ \text{回収数} - (\text{「あてはまらない・分からない」回答数}) - \text{不明数} \} \end{aligned}$$

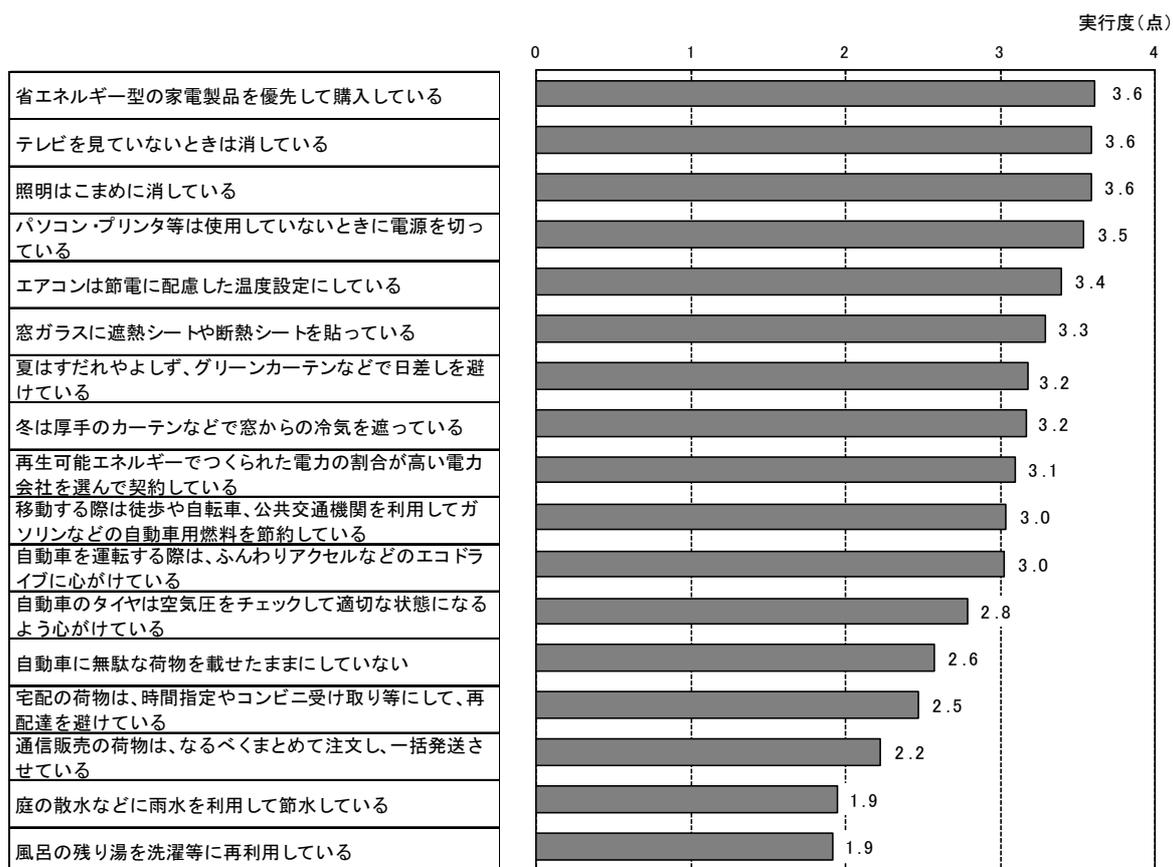
(1) 買い物とごみについて



◇大半の項目で3点（時々やっている）～4点（いつもやっている）という結果になっています。

◇2点（これからやってみる）以下は、「生ごみを堆肥化するなどして、市の収集に出さないようにしている」、「生ごみは乾燥させて減量してから市の収集に出している」です。

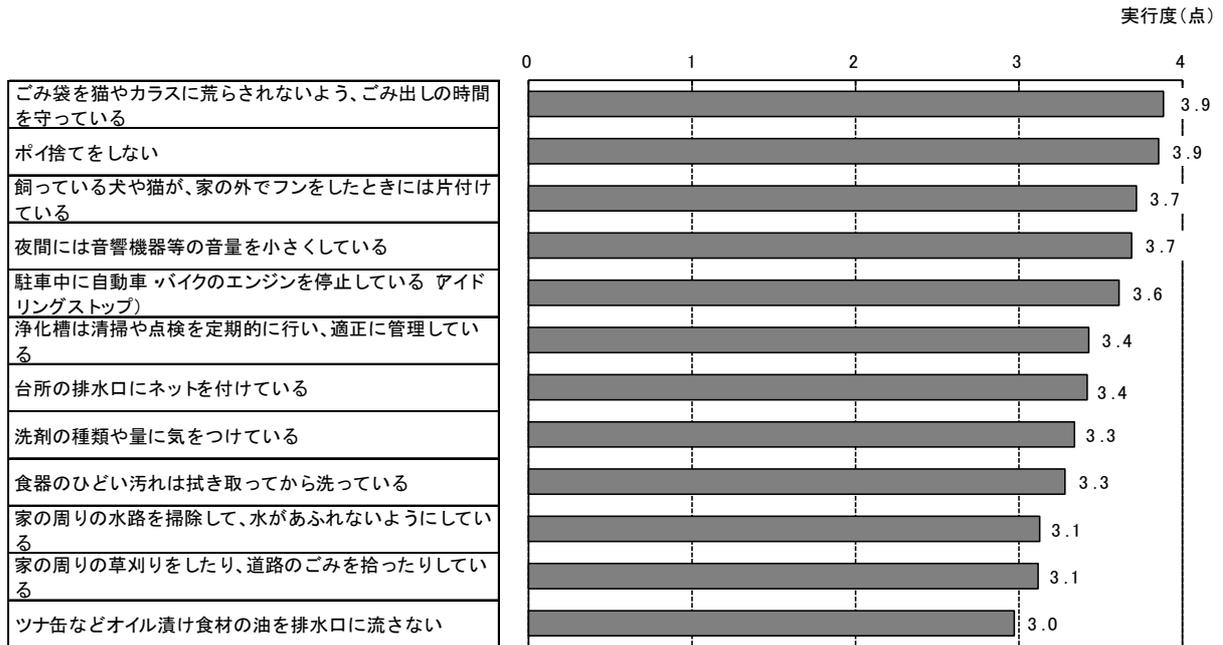
(2) 電気や燃料等の節約について



◇大半の項目で3点（時々やっている）～4点（いつもやっている）という結果になっています。

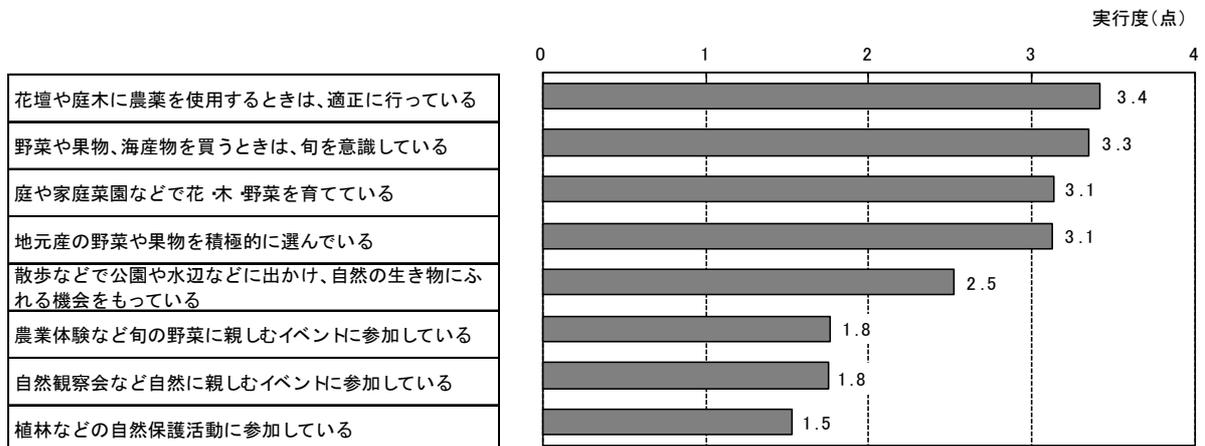
◇2点（これからやってみる）以下は、「再生可能エネルギーでつくられた電力の割合が高い電力会社を選んで契約している」、「窓ガラスに遮熱シートや断熱シートを貼っている」です。

(3) 近隣や排水への配慮について



◇全ての項目で3点 (時々やっている) ~4点 (いつもやっている) という結果になっています。

(4) 自然との関わりについて



◇最大でも「花壇や庭木に農薬を使用するときは、適正に行っている」の3.4点で、4点 (いつもやっている) に近い項目はありませんでした。

◇2点 (これからやってみる) 以下は、「植林などの自然保護活動に参加している」、「自然観察会など自然に親しむイベントに参加している」、「農業体験など旬の野菜に親しむイベントに参加している」になっています。

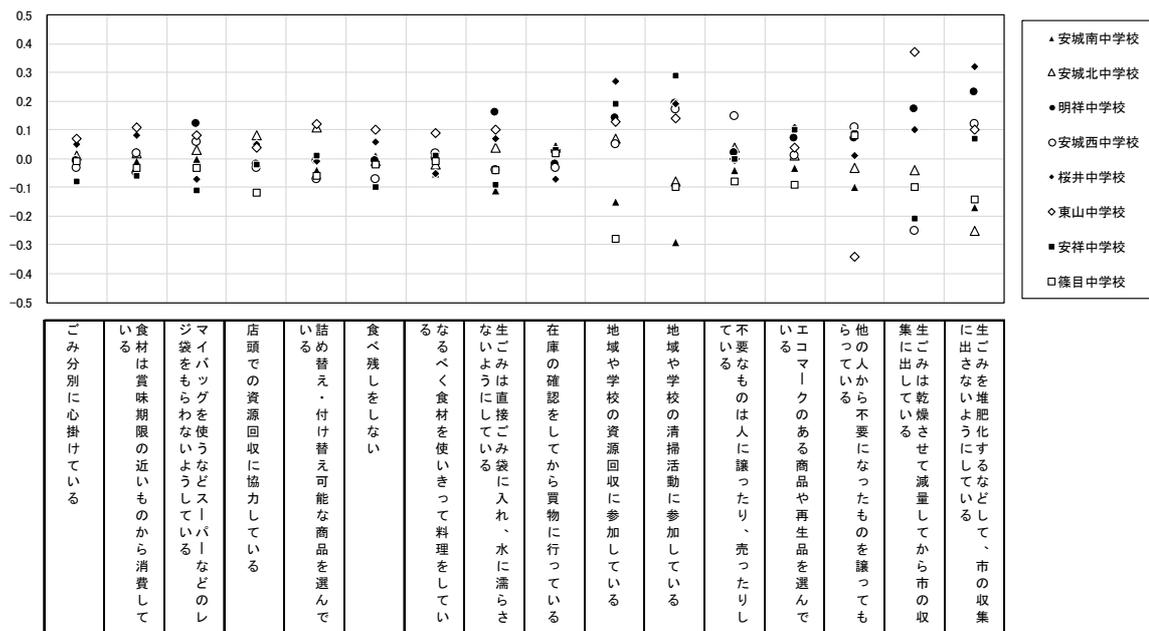
■ 地域別実行度

実行度を中学校区別に求め、市全体の実行度と比較しました。

市全体を0とし、プラスになるほど市全体より実行度が高く、マイナスになるほど市全体より実行度が低いことを示します。

回答は左から、市全体の実行度の高い順に示しています。

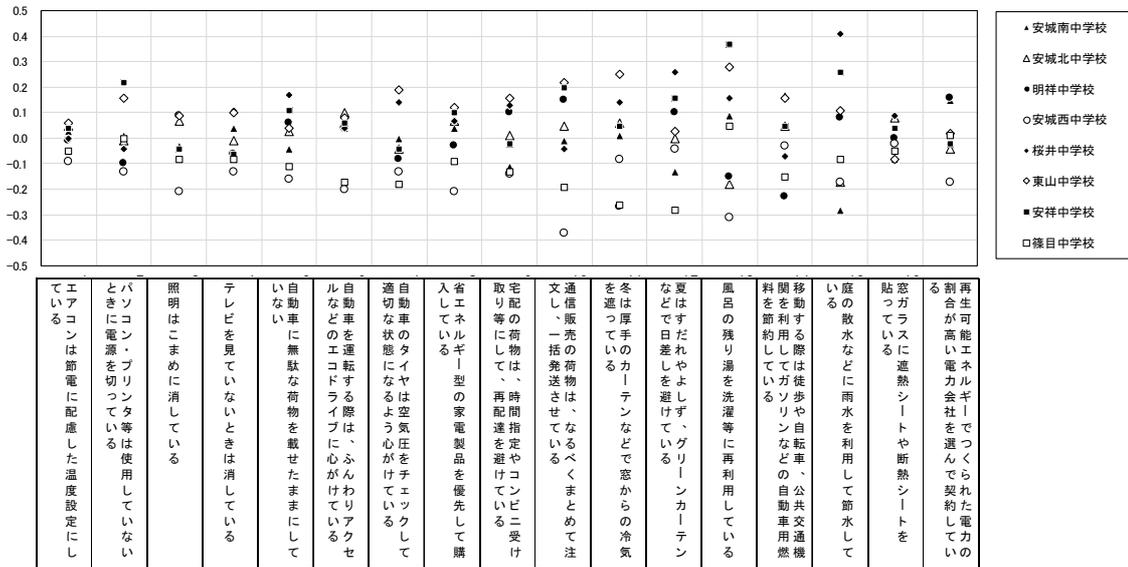
(1) 買い物とごみについて



◇実行度の高い項目は地域間のバラツキが小さい傾向があり、生ごみの処理に関することや地域の活動に関することは、地域間のバラツキが大きくなります。

◇東山中学校区は実行度の高い項目が多く、安城南中学校区、篠目中学校区は、市全体より実行度の低い項目が多い傾向があります。

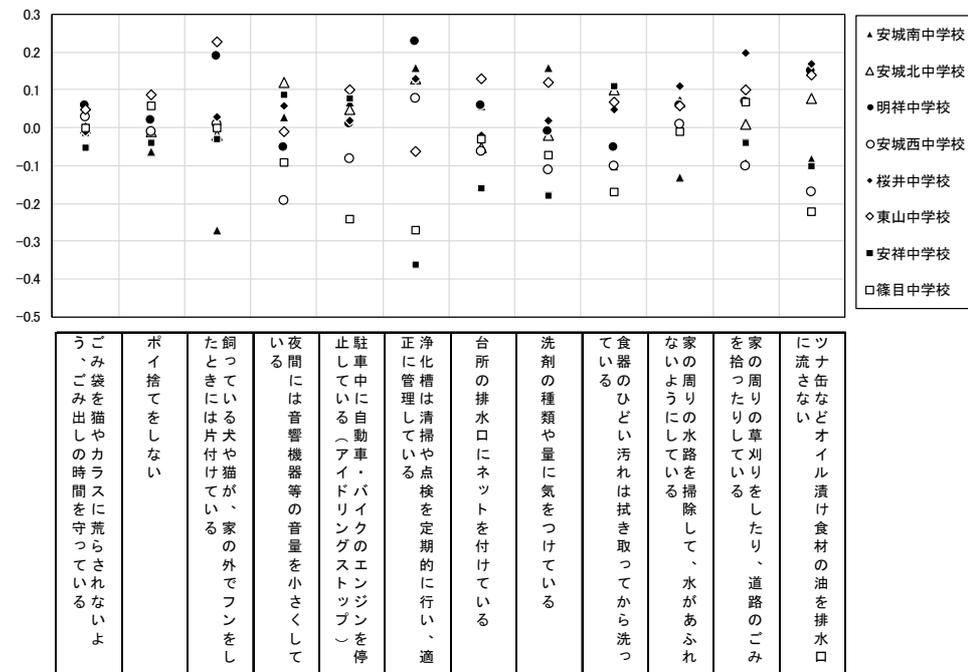
(2) 電気や燃料等の節約について



◇実行度の高い項目は地域間のバラツキが小さい傾向がありますが、実行度の低い窓ガラスの遮熱シート・断熱シートも実行度のバラツキが小さくなりました。

◇東山中学校区は実行度の高い項目が多く、安城西中学校区、篠目中学校区は、市全体より実行度の低い項目が多い傾向があります。

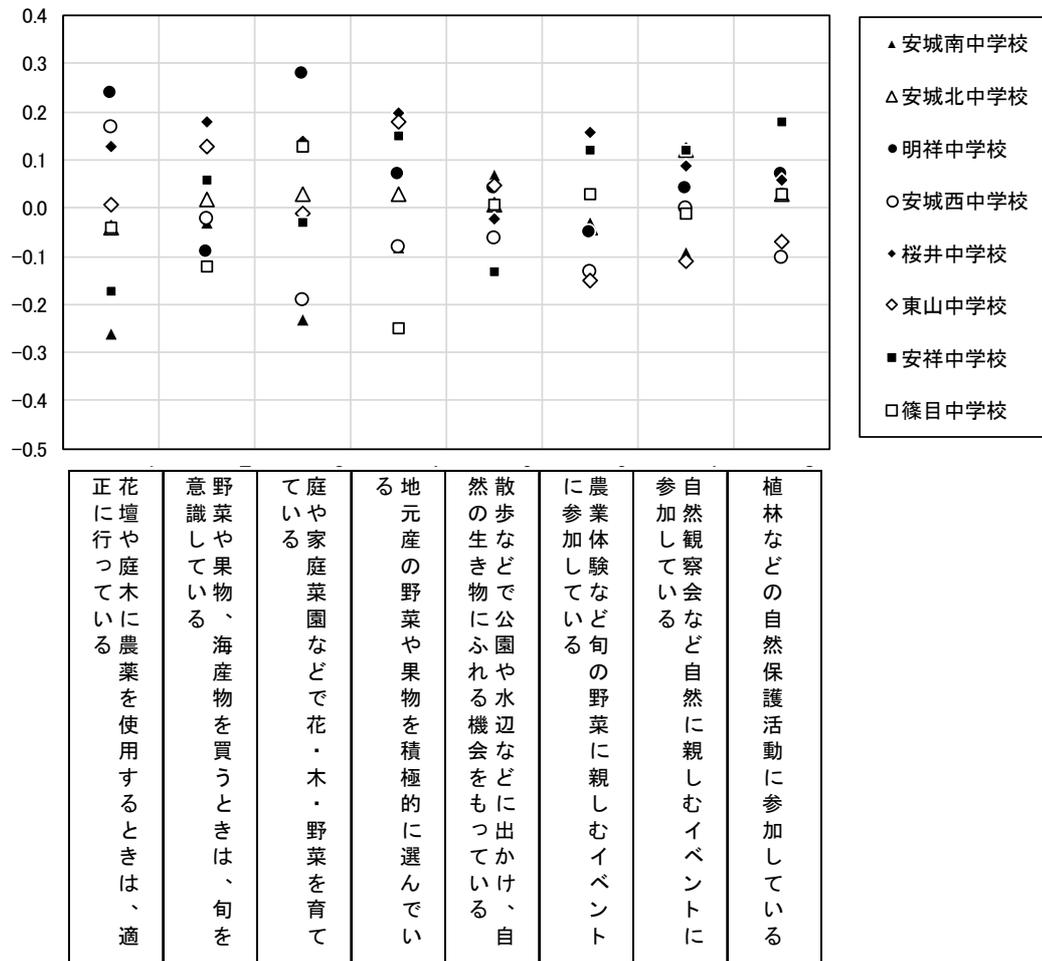
(3) 近隣や排水への配慮について



◇ごみに関することを除き、地域間のバラツキが大きい傾向があります。

◇桜井中学校区、東山中学校区は実行度の高い項目が多く、安祥中学校区は、市全体より実行度の低い項目が多い傾向があります。

(4) 自然との関わりについて



◇実行度の高い項目も含めて、全体的に地域間のバラツキが大きい傾向があります。

◇桜井中学校区は実行度の高い項目が多く、安城南中学校区は、市全体より実行度の低い項目が多い傾向があります。

■ 年代別実行度

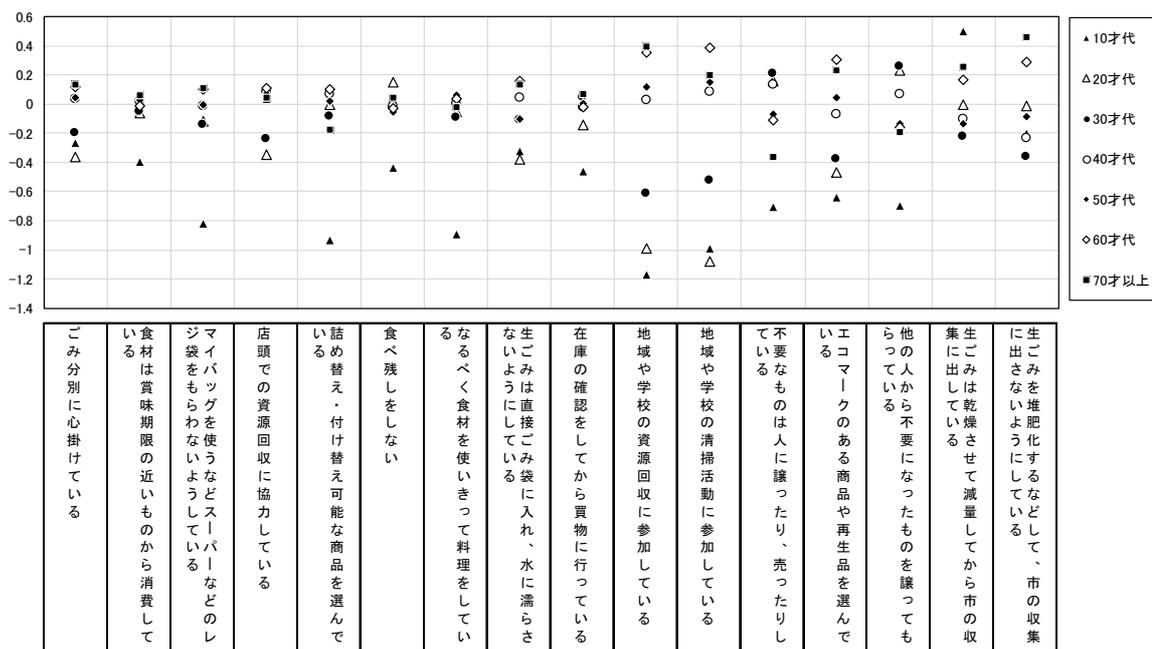
実行度を年代別に求め、市全体の実行度と比較しました。

市全体を0とし、プラスになるほど市全体より実行度が高く、マイナスになるほど市全体より実行度が低いことを示します。

回答は左から、市全体の実行度の高い順に示しています。

なお10才代は回答者数が他の年齢より圧倒的に少ないことから、参考値とします。

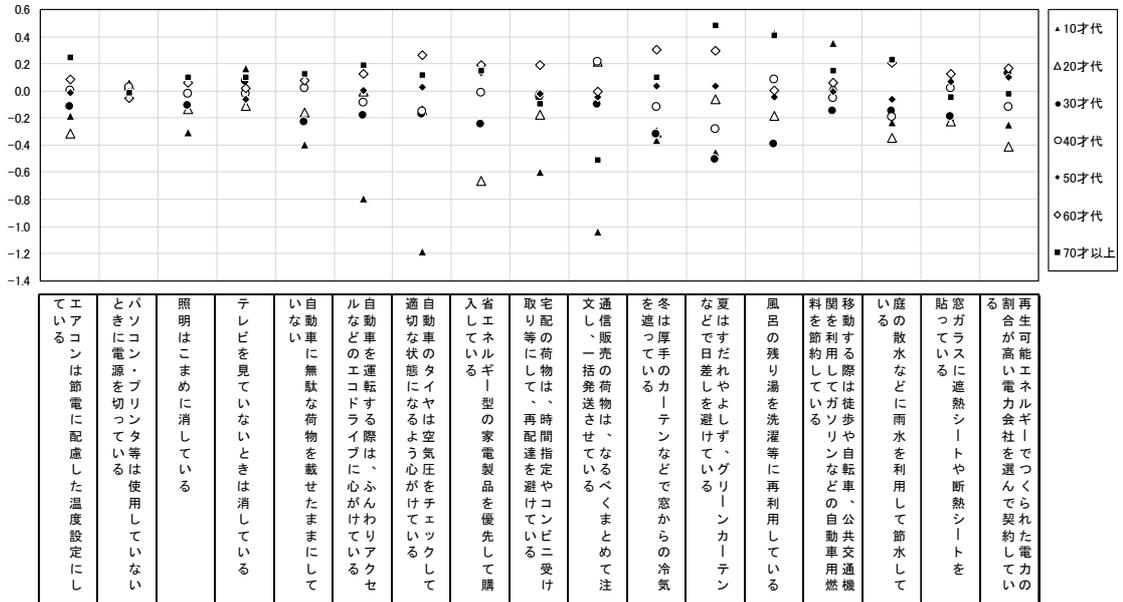
(1) 買い物とごみについて



◇実行度の高い項目は、年齢間のバラツキが小さい傾向があります。地域や学校の活動への参加のバラツキが大きくなっています。

◇60才代、70才以上は実行度の高い項目が多く、20才代、30才代は、市全体より実行度の低い項目が多い傾向があります。

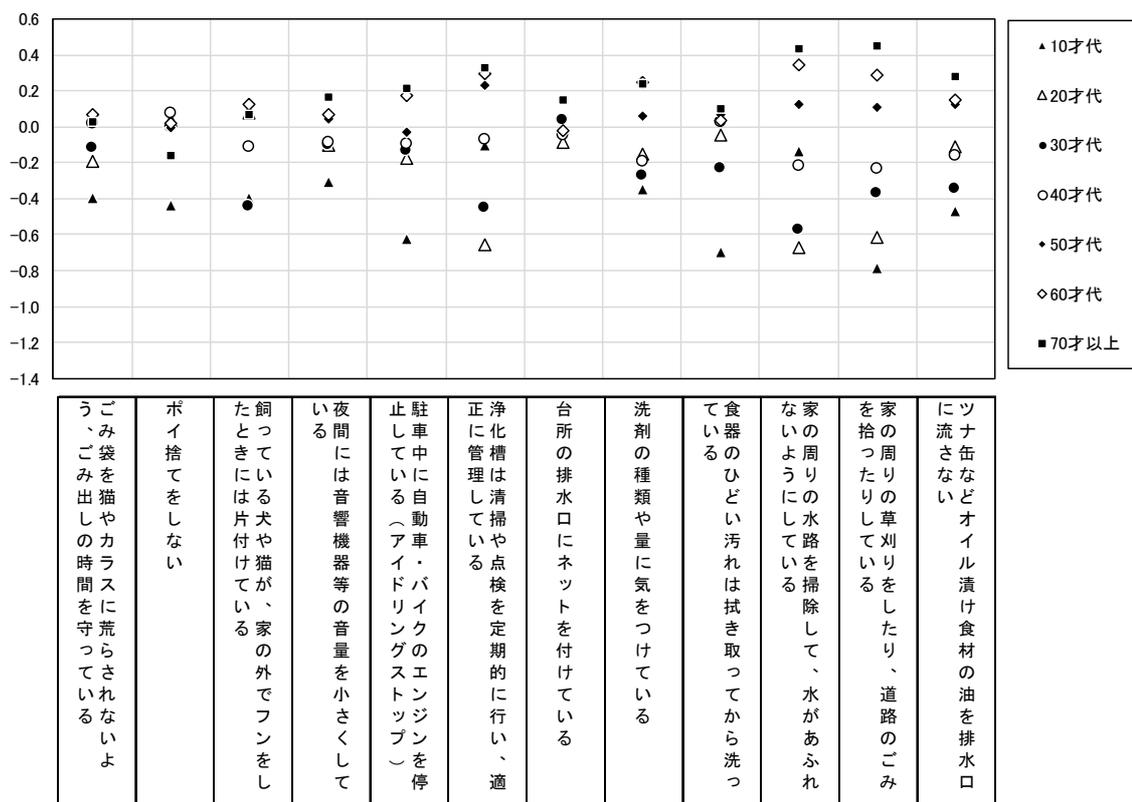
(2) 電気や燃料等の節約について



◇他の設問に比べ、年齢間のバラツキが小さい傾向があります。

◇60才代、70才以上は実行度の高い項目が多く、20才代、30才代は、市全体より実行度の低い項目が多い傾向があります。

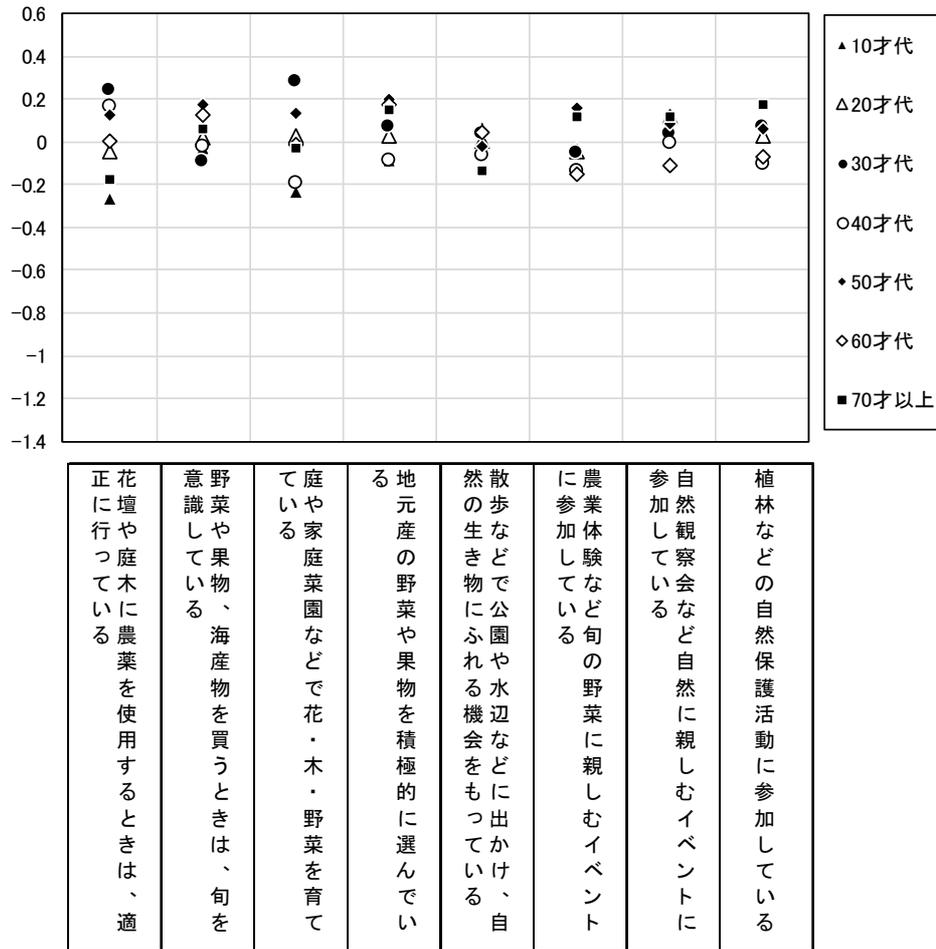
(3) 近隣や排水への配慮について



◇実行度の高い項目は、年齢間のバラツキが小さい傾向があります。家の周り草刈りや清掃などで、年齢間のバラツキが大きくなっています。

◇60才代、70才以上は実行度の高い項目が多く、20才代、30才代は、市全体より実行度の低い項目が多い傾向があります。

(4) 自然との関わりについて

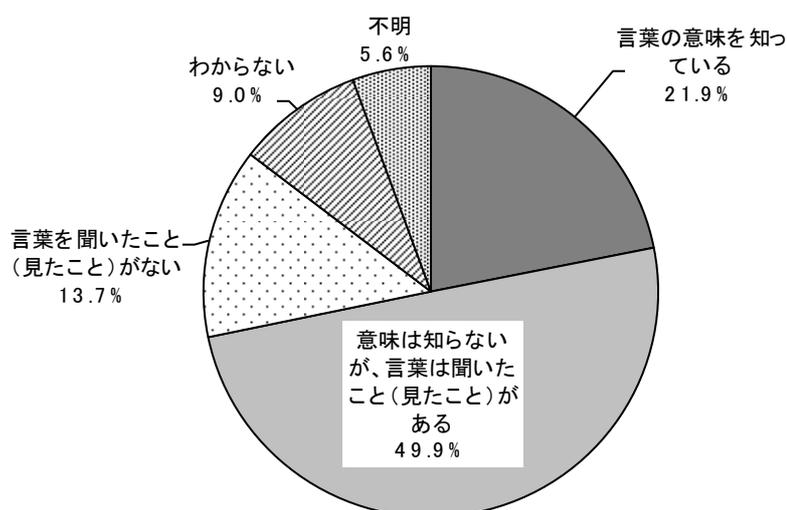


◇他の設問に比べ、年齢間のバラツキが小さい傾向があります。

◇他の設問に比べ、20才代、30才代で実行度の高い項目が多い傾向があります。

問2. 《生物多様性の認知度について》

あなたは、「生物多様性」という言葉について、どの程度ご存知ですか。次の1～4の中から、最もあてはまるものを1つだけ選び、その番号に○をつけてください。

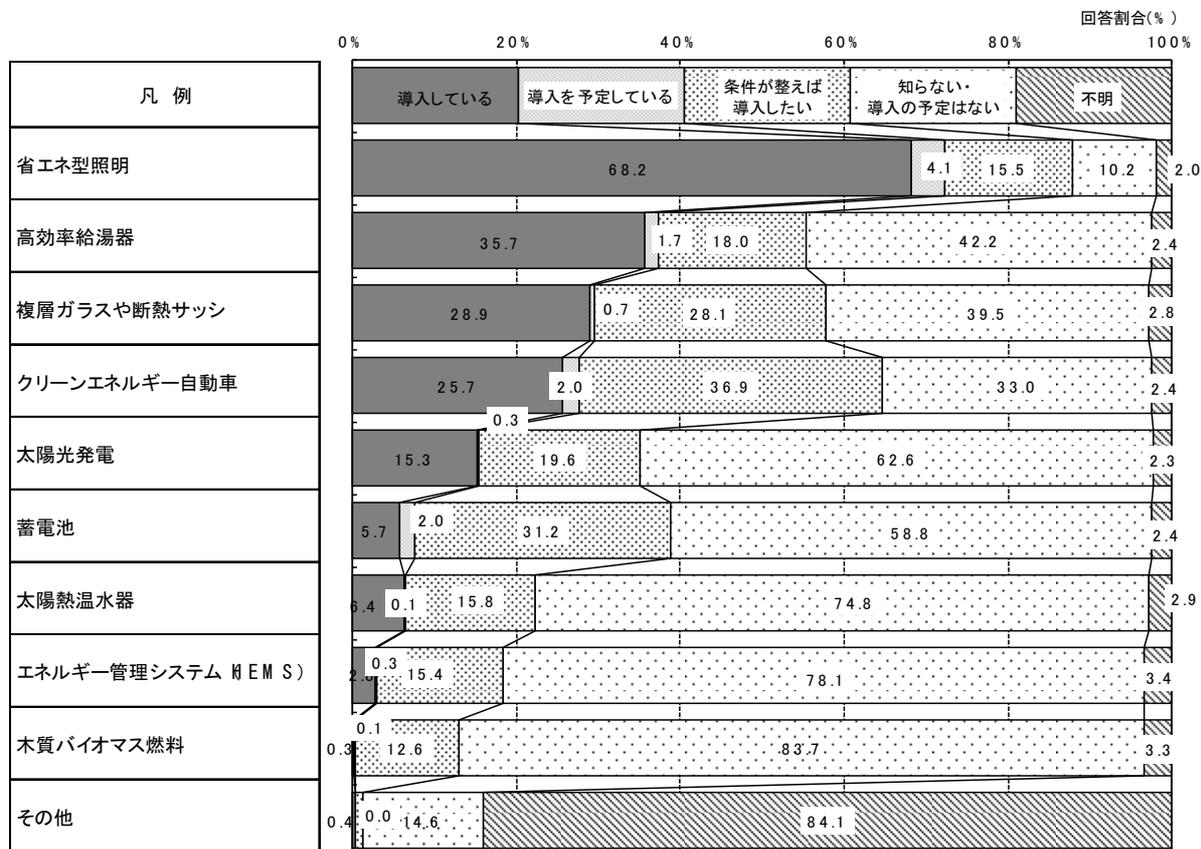


◇「意味は知らないが、言葉は聞いたこと（見たこと）がある」が49.9%で最も多く、次いで「言葉の意味を知っている」が21.9%、「言葉を聞いたこと（見たこと）がない」が13.7%の順でした。

◇年代別では、「意味は知らないが、言葉は聞いたこと（見たこと）がある」の割合に差はありませんが、「言葉の意味を知っている」は30才代の割合が低く、「言葉を聞いたこと（見たこと）がない」は70才代以上の割合が低い結果となりました。

問3. <<ご自宅でお持ちの設備について>>

ご自宅の設備について、それぞれ右の1～4のあてはまる番号に○をつけてください。



◇「導入している」が多いのは、「省エネ型照明」で68.2%、「高効率給湯器」が35.7%、「複層ガラスや断熱サッシ」が28.9%の順でした。

◇「条件が整えば導入したい」が多いのは、「クリーンエネルギー自動車」で36.9%、「蓄電池」が31.2%、「複層ガラスや断熱サッシ」が28.1%でした。

◇「知らない・導入の予定はない」が多いのは、「木質バイオマス燃料」で83.7%、「エネルギー管理システム (HEMS)」が78.1%、「太陽熱温水器」が74.8%の順でした。

問4. <<市に対するご意見等>>

安城市の環境施策などについて市に対するご意見、ご要望があれば何でも結構ですからご記入ください。

下記のような意見を頂きました。

- ・デンパークのような公園をもっと作ってほしい。
- ・なるべく車の利用が少なくて済むような生活環境が欲しい。
- ・街並みが、どこに行っても綺麗と感じる。
- ・河川の堤防に植林をするとよいのではないか。
- ・用水路のごみ、雑草を綺麗にしてほしい。
- ・川沿いの草を刈って綺麗にしていると思う。
- ・犬のフンの始末がされていない。
- ・近所の猫が庭でフンや尿をするので困っている。
- ・明治用水の水を利用した水辺環境を整備してほしい。
- ・秋葉公園でカワセミを見て、感動した。自然豊かな町はとても贅沢で、財産だと思う。
- ・田畑を大切にしてほしい。
- ・関東・愛知の他の都市に比べ、緑が少ない。
- ・まだまだ緑が少ないので、植栽を含む公園整備をしてほしい。
- ・自分の住む地区は、どんどんマンションが乱立している。自然が感じられる場所が欲しい。
- ・樹木が少ない気がする。田畑が多いので緑が多く感じるが、木がもっとあるといい。
- ・田畑が多い環境を長く維持したい。
- ・JR安城駅からデンパークにかけて花壇があり、綺麗で癒されるので、他にも増えると嬉しい。

- ・安城市は環境問題に進んで取り組んでいる市だと思う。
- ・これからも環境施策について情報発信して、市民に関心が向くようにしてほしい。
- ・市の活動内容を具体的に理解できていないのが実状。
- ・広報等の情報は事務連絡的で、市民が活動して成果を出すための具体策がなく、一体となって動けない。
- ・限られた資源を大事に思うための啓発にもっと力を入れるべき。
- ・新しく何かを作るより、現状で環境負荷を減らすことを考えることが先決。
- ・費用対効果を考えた、バランスの良い環境施策をお願いします。
- ・ごみ分別に、引き続き積極的に取り組んでほしい。
- ・ごみ分別の分かりづらい物がある。
- ・ごみの分別が楽で住みやすい。
- ・ごみ捨てのマナーが非常に悪い。
- ・ごみの最終処理をしやすいように市民が協力するのは大切なので、最終処理をしている現場の職員たちの要望を市民に知らせてほしい。
- ・資源回収スポットが多く、歩いていける距離にあるので、とても助かっている。
- ・町内で、ごみの分別のお話をしてくださり、とても参考になったので、定期的に開催してほしい。
- ・多くの人が、雑紙を可燃ごみとして出している。

等